



コンパクトな市街地形成に向けた計画を策定

秋田市は、現在の市街地のままで人口減少や高齢化が進行した場合、これまで一定の人口数に支えられてきた医療・福祉、商業、公共交通などの日常生活に必要なサービスの維持が困難になり、市民生活に支障が出るのが懸念されています。

そのため、中央・東部・西部・南部・北部・河辺・雄和の各地域に拠点をつくり、時間をかけながら、日常生活に必要な機能や、人口の集積を図り、市民が身近な地域で用事を済ませることができるコンパクトなまちづくりをめざしています。

現在、その行動計画となる「立地適正化計画」の策定を進めており、このたび、計画に定める①まちづくりの基本方針と②拠点づくりを進めるための区域(都市機能誘導区域)、③居住を誘導する区域(居住誘導区域)の素案をまとめました。

◆ご意見をお寄せください

左記の①～③の素案は、10月5日(木)から下記の資料閲覧場所でご覧いただけます。ご意見は、閲覧場所にある用紙に記入し、回収箱へ投函するか、郵便、FAX、Eメールのいずれかでお送りください。

なお、ご意見は、個人情報を除き、原則、市ホームページで公開します。

意見募集期間▶10月5日(木)～11月6日(月)

資料閲覧場所▶都市計画課(市役所4階。同課ホームページでも)、市民の座(市役所1階)、各市民サービスセンター(中央を除く)、駅東サービスセンター

意見提出先▶

〒010-8560 秋田市役所都市計画課
FAX(888)5763

Eメール ro-urim@city.akita.akita.jp

問い合わせ▶都市計画課☎(888)5764

*計画は都市計画、医療・福祉、商業、農業、子育て、公共交通、不動産取引などの関係者で構成する、秋田市都市再生協議会で検討を行っています。検討状況は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/im/keikaku/12rittitekiseikakeikaku/default.htm>

*計画の素案についての住民説明会と意見募集は、1月に行う予定です。

住民説明会を開催します



まちづくりの基本方針や各誘導区域についての住民説明会を右記のとおり、各市民サービスセンター(＝SC)で開催します。直接会場へお越しください。

地域	会場	日時	対象地区など
中央	中央市民SC 多目的ホール (市役所3階)	10月25日(水)18:30～	大町、中通、南通、榑山、旭北、旭南、川元、川尻、千秋
		10月26日(木)18:30～	山王、高陽、保戸野、泉(JR線西側)、茨島、八橋
		10月29日(日)14:00～	25日・26日に参加できないかた
東部	東部市民SC 地域文化ホール	10月10日(火)18:30～	東通、手形、手形山、泉(JR線東側)、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、仁別
		10月13日(金)18:30～	広面、柳田、横森、桜、桜ガ丘、桜台、大平台、下北手、太平
		10月14日(土)14:00～	10日・13日に参加できないかた
西部	西部市民SC 洋室4～7	10月27日(金)18:30～	新屋
		10月28日(土)14:00～	27日・31日に参加できないかた
		10月31日(火)18:30～	勝平、浜田、豊岩、下浜
南部	南部市民SC 地域文化ホール	10月5日(木)18:30～	牛島、卸町、大住、仁井田
		10月6日(金)18:30～	御野場、御所野、四ツ小屋、上北手、山手台
		10月7日(土)14:00～	5日・6日に参加できないかた
北部	北部市民SC 地域文化ホール	10月21日(土)14:00～	23日・24日に参加できないかた
		10月23日(月)18:30～	土崎港、港北、飯島、金足
		10月24日(火)18:30～	下新城、上新城、寺内、外旭川、将軍野
河辺	河辺市民SC 地域文化ホール	10月11日(水)、 15:00～、18:30～	河辺地域の全地区
雄和	雄和市民SC 地域文化ホール	10月12日(木)、 15:00～、18:30～	雄和地域の全地区





豪雨災害からの復旧を支援

8月28日に開催した市議会臨時会において、7月に発生した豪雨災害の復旧関連事業として、次の事業が承認されました。

補正予算や、これまでの予備費・既定予算で対応したものを含め、災害復旧関連の予算は、総額23億5,079万7千円になりました。財政課☎(888)5466

承認されたおもな事業と予算額

災害復旧事業

- ▶ 農地農業用施設災害復旧事業(農地や農業用施設の復旧工事など)…8億6千33万円
- ▶ 公共土木施設災害復旧事業(道路、河川、公園の復旧工事など)…5億4千330万円
- ▶ 林業施設災害復旧事業(国見山線ほか13路線の林道の復旧工事など)…2億1千780万円
- ▶ 公立学校施設災害復旧事業(雄和中学校グラウンドの復旧工事など)…3千580万円
- ▶ 河辺墓地施設等復旧事業…2千728万6千円

災害復旧支援関連事業

- ▶ 農業経営等復旧支援対策事業(農地などへの漂着物や堆積物の除去や、農作物の防除や家畜の衛生対策に対する補助など)…933万2千円
- ▶ 水害復旧支援資金利子等助成事業(農業者の借入資金の利子および保証料に対する補助)…521万6千円

寄付をいただきました

7月の豪雨災害に対し、復旧支援に活用してほしいと、秋田市に寄付をいただきました。ありがとうございました。

- ◆ 8月30日、日本防災士会秋田県支部から寄付金をいただきました。防災安全対策課☎(888)5434



支部長の渡辺勝治さん(左)と副支部長の岸 栄一さん

- ◆ 秋田市の姉妹都市である茨城県常陸太田市の大久保太一市長をはじめとする同市職員など、有志のみなさんから、見舞金32万円をいただきました。企画調整課☎(888)5464

7月の豪雨災害による、申告・納付期限の延長、納税の猶予、所得税の軽減などの相談は税務署の電話相談センターへ(いずれも音声案内で「1」を選択してください)。

秋田南税務署☎(832)4121・秋田北税務署☎(845)1161

防災安全対策課☎(888)5434

弾道ミサイル落下時の行動

行政からの指示に従い、落ち着いて行動を

弾道ミサイルは、発射から短時間で着弾します。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、Jアラートを使用した緊急速報メールなどにより情報が配信されます。

緊急情報が配信されたら、直ちに次の行動をとってください。

【屋外にいる場合】

- ・ 近くのできるだけ頑丈な建物などに避難する
- ・ 近くに適当な建物がない場合、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る



【屋内にいる場合】

- ・ できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する

*上記の情報は、内閣官房の「国民保護ポータルサイト」で確認できます。

Jアラート=全国瞬時警報システム

弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合など、このシステムを使用し、国から緊急情報が対象地域に伝達されます。

災害情報は「防災ネットあきた」で



「防災ネットあきた」にメールアドレスを登録すると、大雨・地震・津波・土砂崩れなどの災害情報や、避難勧告などの避難情報を携帯電話やパソコンに配信します。秋田市のホームページまたはQRコードから登録できます。

検索…「秋田市ホームページトップ」→「秋田市防災コーナー」→「防災ネットあきた」
ホームページアドレス…

<http://www.bousai-mail.jp/akita/>

